令和6年度 学校評価書

幼稚園名： 焼津市立大井川南幼稚園

幼稚園においては学校教育法及び学校教育法施行規則により学校運営の状況について評価を行い、その結果を公表することが義務づけられています。つきましては、本年度実施した保護者アンケート及び教諭自己評価をもとに作成した学校評価書を公表します。

＜評価方法＞

- 下記項目による保護者アンケート及び教諭自己評価を実施し、回答を点数化したのち、その平均点により総合評価を判定しました。
- ※点数は左記のとおり＜A…そう思う（4点）／B…どちらかといえばそう思う（3点）／C…どちらかといえばそう思わない（2点）／D…そう思わない（1点）＞
- 項目1～20は保護者及び教諭が、21～45は教諭のみが回答しました。

No.	項目	平均点
保護者・教諭 同一項目	1 幼稚園に通うことを楽しみにしている。	3.8 /4
	2 安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる。	
	3 友達と一緒に遊び、友達と共に過ごすことを楽しんでいる。	
	4 遊びや集団生活に必要な『きまり』があることを知り、守ろうとしている。	
	5 様々な物事に興味、関心を示し、知的好奇心、思考力、感動する心が育ってきている。	
	6 自ら、好きな遊びを見つけて遊んでいる。	
	7 思いやりの気持ちや我慢する気持ちが育ってきている。	
	8 家族や幼稚園職員に挨拶をしている。	
	9 体を動かすことが好きになり、体力がついてきている。	
	10 園目標「心やさしい元気な子」に近づいてきている。	
応保に護つ者へへの対	11 幼稚園は子どもの成長の状況を保護者に伝えている。	3.8 /4
	12 幼稚園は保護者が子どもの成長に気づくための機会（参観日等）を作っている。	
	13 幼稚園は子育ての悩みや相談に、丁寧に対応している。	
	14 幼稚園は保護者同士が親しく交流できる場となっている。	
に安つ全い対策	15 幼稚園は保育室、遊戯室、園庭等において園児が安全に過ごせるようにしている。	3.9 /4
	16 幼稚園は安全対策について園児及び保護者に知らせている。	
	17 幼稚園は地震や火災等の災害時の対応を明確にし、訓練等により園児が安全に避難できるようにしている。	
教諭項目	18 子ども一人一人の人権を尊重し、それぞれの長所を把握している。	3.7 /4
	19 教育要領に基づき子どもを保育し、適当な環境を与え、心身の発達を助長するよう努めている。	
	20 子どもの個々の発達段階に応じて、基本的な生活習慣を定着させるよう努めている。	
	21 保育の考え方について保護者と相違があった場合、その保護者の状況や考え方を受けとめたくうえで説明するよう努めている。	
	22 個々の家庭環境が違うことを考慮したうえで、その子どもに適切な保育を考え、行っている。	
	23 幼稚園の教育は子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な役割を担っていることを認識している。	
	24 子どもの状況に合わせ、人的・物的な工夫をもって環境の構成を行っている。	
	25 子どもが思い切り遊ぶことができるように、子どもと一緒に体を動かしている。	
	26 一人一人の子どもに目を配っていたかを振り返り、自身の保育の課題を見つけている。	
	27 子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるよう、子どもとの信頼関係を築く努力をしている。	
	28 時節に合った掲示物やコーナーによる室内環境作りに努めている。	
	29 子どもが快適に過ごせるよう保育室内を清潔に保っている。	
	30 子どもが自発的に保育室内の環境を整える（遊び用具や掃除用具の片付け等）ことを促す工夫をしている。	
	31 時間や提出物の期限を守っている。	
32 明日の保育に向け環境、教材等の用意をしている。		
環指助導に計つ画いて週案、幼児理解、環境	33 幼稚園教育要領及び自園教育課程を基に、実態に合わせた指導計画を作成している。	3.7 /4
	34 子ども一人一人の実態（発達の状況や興味の対象等）を把握したうえで指導計画、週案を作成している。	
	35 子どもの意欲を誘うよう十分工夫した環境構成がされた週案を作成している。	
	36 支援を要する子どもに対し、その子どもに適した環境を準備し、具体的な対応をしている。	
	37 補助教諭がいる場合、両者の役割や子どもへの援助の方法等をよく話し合い、計画を立てて保育を進めている。	
	38 指導計画、週案と実際の子どもの状況、興味、関心が合っているか、という観点で自身の保育を評価している。	
	39 『園の教育理念、方針、目標』『自身の指導計画・週案の内容やねらい』を保護者が理解できるように説明することができる。	
	40 日々の保育が適切であったか判断し、適切でなかったと思われる点については、改善に向けた保育を計画し、実践している。	
	41 園長及び副園長・主任教諭は自身の立場を自覚し、他の職員の手本となるよう努めている。	
	42 園長及び副園長・主任教諭は園の運営についてお互いによく協力し、行っている。	

総合平均点数	総合評価（評価項目の達成及び取組状況）
4～3.1	A…十分達成されている
3～2.1	B…達成されている
2～1.1	C…取り組まれているが、成果が十分でない
1～0	D…取組が不十分である

総合評価	総合平均点数
A	3.8 /4

<本年度の幼稚園運営の振り返り>

・総合評価を受けての所感

総合評価Aをいただき嬉しく思います。日頃より保護者の皆様に本園の教育に対する御理解と御協力をいただき感謝しております。園目標「心やさしい元気な子」重点目標「友達と繰り返し遊ぶ子」を目指し、日々保育に取り組んでおります。異年齢交流を意識的に取り入れ、遊びを通して経験の幅を広げてきました。みんなで一緒に遊ぶことを繰り返し、遊びの楽しさがわかると、更に面白さを求めて自分たちでルールを作っていく姿が見られました。

園児の状況について、項目8「家族や幼稚園職員に挨拶をしている」の点数が低い結果でした。早寝、早起き、朝ごはんを習慣にし、元氣よく登園できるようにしていきたいです。大井川南幼稚園の合言葉は「にこにこ はきはき 元気な子」です。合言葉を園児だけでなく家庭にも広め、みんなで気持ちのよい挨拶ができるようにしていきたいと思います。

・本年度努力した点、改善した点

園の日常生活を知っていただけるよう、保育参加を取り入れ、保護者の皆様が体験できる機会を設けました。子供たちと一緒に遊んだり、給食を食べたり、読み聞かせをしていただいたりしながら、園の様子を見ていただきました。参加後は、「我が子の園での様子、友達関係を知るよい機会だった。」という感想を多くいただきました。「自分が体験してよかったので、父親（母親）にも参加させたい。」と夫婦で一回ずつ体験して下さった家庭もありました。来年度も継続して行き、幼稚園を知り、子供の成長を感じる機会としていただきたいと思います。

安全管理について保護者様へ周知し、改善を図りました。不審者対策として保護者様の名札着用や門扉施錠の徹底、確実な引き渡しのための降園時チェックなど、保護者の皆様に御理解、御協力をいただけていることに感謝します。

・苦心した点、反省すべき点

危機管理や防災教育についての課題があります。不審者侵入時や災害時における様々な状況を想定し、対応や訓練方法を見直しました。有事の際、子供の命、安全を守る行動をどうとるべきか。自然災害は回避できないけれども、被害を抑えるためには何ができるかを考え、今できることに取り組んでいます。しかし保護者様の安心には繋がっていません。今後、保護者の皆様とともに防災について考え、連携を図り、一体となって対応できるよう努めます。

<来年度の幼稚園運営について（方針、重点内容、改善策等）>

園目標「心やさしい元気な子」重点目標「思いを出して遊ぶ子」に近づく育ちを目指します。言語だけでなく、態度や表情、仕草など、その子の「思い」の表現を大切にします。安定した園生活の中で一人一人が自分の思いを出せる環境づくりと、子供の思いを見逃さず、寄り添える援助を心掛けます。また、引き続き遊びや生活の中で異年齢の関わりを大切にし、その中で育ち合える環境を作ります。気持ちのよい挨拶で登園し、園児も保護者も顔見知りとなり、コミュニケーションをとることから始めます。誰にとっても過ごしやすい環境の中で、家庭と協力して子供の育ちを支えていけるよう努めます。